工 事 説 明 書

ガスビルトインコンロ［設置フリータイプ］	
型　式　名	
60cm幅	75cm幅
DW32G1WA　C3WG1RWA	DW32G2WA　C3WG2RWA

工事を誤った場合に危害・損害の程度を、次のように区分しています。 いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。	
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

 禁止　 必ず守る

工事される方へ（この「工事説明書」を設置工事前に必ずお読みください。）

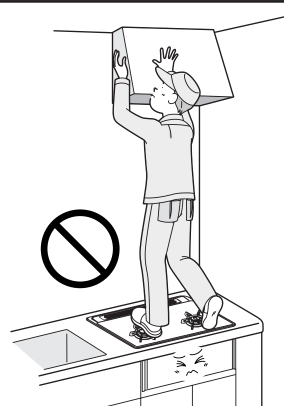
- 周囲の壁が不燃材料以外で、トッププレートに貼付の防火性能評定シールに記載されている離隔距離を確保できない場合は、絶対に設置しないでください。
  どうしても設置しなければならない場合は、必ず別売の防熱板（別添の工事（施工）説明書参照）を取り付けてください。
  防熱板を取り付けなかった場合、火災のおそれがあります。

※仕上げの構造が確認できない場合は、必ず防熱板を取り付けてください。

- 設置の種類に応じて工事を行ってください。
  （1）ビルトインコンロのみを単体で設置する場合 ⇨ 6ページ
  （2）ビルトイン形ガスオーブンとセットで設置する場合 ⇨ 10ページ

⚠警告

- 機器を安全にご使用いただくため、この工事説明書をよく読んでから、有資格者による指定された工事を行う。
- 建築基準法、当該地区の市・町・村の条例、消防法、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準および実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)に従う。
- トッププレートのガラス裏面には、絶対にキズを付けない。
  ガラス強度が著しく低下し、破損しやすくなります。また火災・損傷事故の原因になります。
- **機器の上には絶対にのらない。**
  ガラス面が破損し、思いがけない事故の原因となります。



お願い

- 乾電池を抜かずに点火/消火ボタンを 開の状態 で放置しないでください。乾電池の消耗が早くなります。
- 乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取りはずしてください。
  そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

- この工事説明書の記載内容をはずれた設置が原因で生じた故障および損傷は、保証期間内であっても保証の対象とならないので注意してください。
- 設置工事が終わったら、この工事説明書に基づいて設置されていることを確認してください。
- 工事終了後、保証書（取扱説明書に記載）に必要事項を記入してください。
- 取扱説明書（保証書付）は工事終了後必ずお客様に渡してください。
- 取扱説明書に従って、お客様に機器の操作方法など、取り扱い説明をしてください。



ケE53

開こん

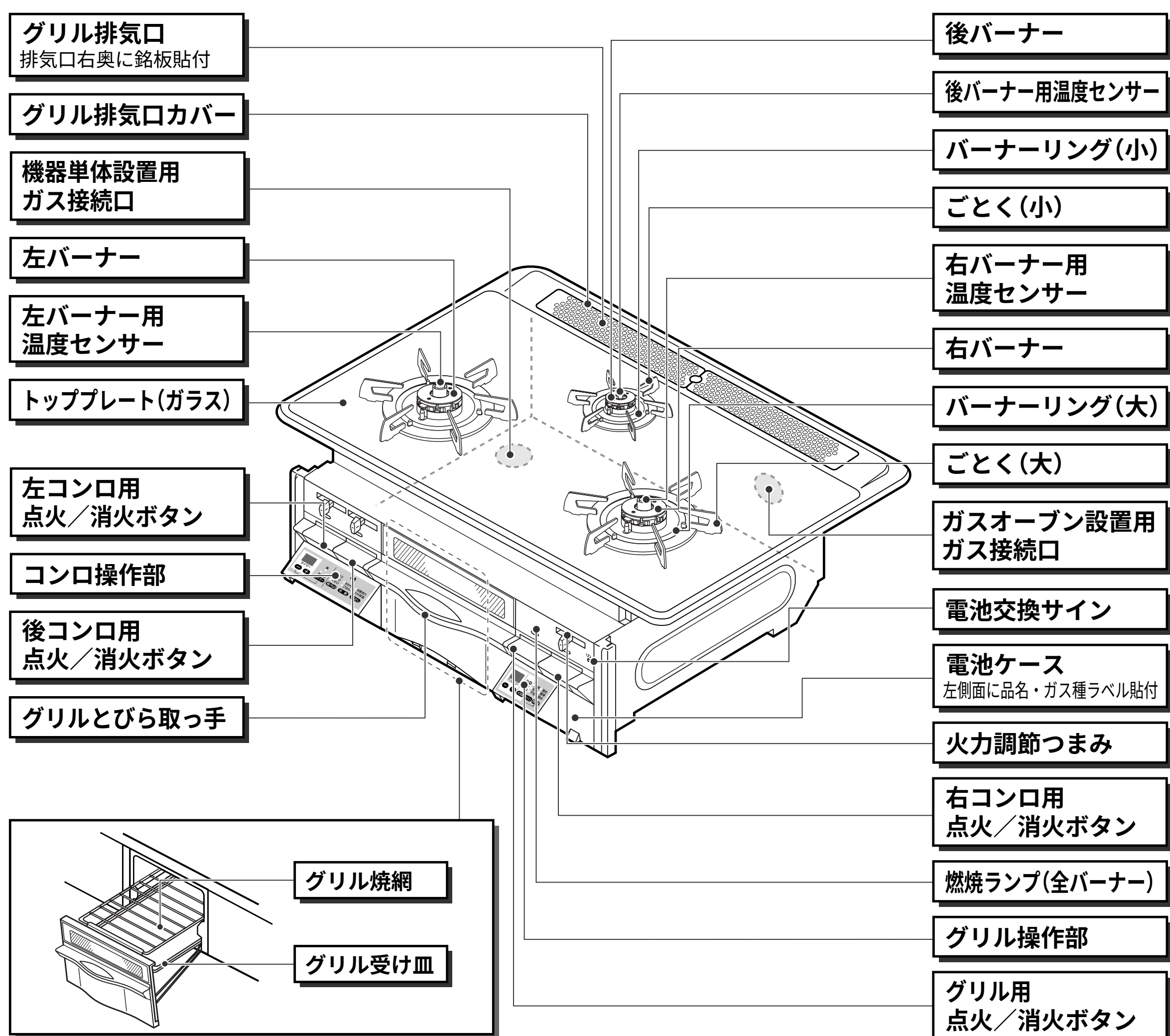
▣同こん部品・付属品の確認

次の部品が同こんされています。不足のないことを確認してください。

部　品　名	形　　状	個数	部　品　名	形　　状	個数
バーナーキャップ（大） ＜左右バーナー用＞		2	検圧口ネジ用 アルミパッキン	（ビルトインコンロで検圧した場合の取り替え用です。 機器取付パッキンとは形状が異なりますので注意してください。）	1
バーナーキャップ（小） ＜後バーナー用＞		1	単1形乾電池		2
ごとく（大） ＜左右バーナー用＞		2	グリル焼網		1
ごとく（小） ＜小バーナー用＞		1	グリル排気口カバー		2
サイドモール		2	取扱説明書（保証書付） 工事説明書 サービス網一覧表 クッキングブック		各1

各部のなまえ

DW32G2WAタイプ



- その他のタイプについては、トッププレートの幅が異なりますので、詳しくは取扱説明書の「各部のなまえと特長」を参照してください。
- 操作部やパネルなどに、保護シートが貼ってある場合がありますので、取りはずしてください。

※ガス接続口の位置を示す。(透視図)

設置前の注意

▣設置する機器の確認

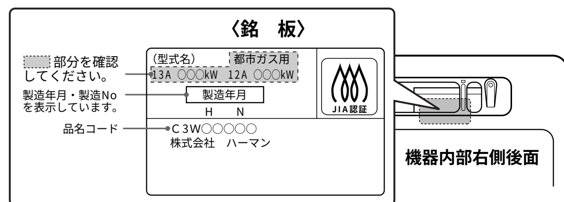
◎設置する機器が、ご使用になる目的、用途に適合していることを確認してください。

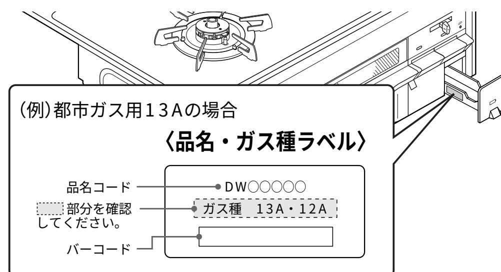
⚠注意

- 機器内部右側後面に貼付している銘板に表示してあるガスに適合していることを確認する。（電池ケース側面に、品名・ガス種ラベルも貼付しています。）
  火災、不完全燃焼、爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。
- ガス種の異なる地域へ転居した場合は、部品交換や調整が必要のため注意する。
  爆発や不完全燃焼の原因になります。
- この機器は調理以外の用途には使用できないため、用途を確認し設置する。
  火災・不完全燃焼・機器の故障の原因になります。



確　認





▣設置場所の確認

◎設置場所をお決めになるときは、次の事項をよく確認してから決めてください。

⚠注意

- 設置するガス機器および同一室内に設置してある他のガス機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置する。
  他のガス機器と同時に使用した場合、不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 設置場所を決めるときは、お客様とよく相談し、安全な場所で、周囲に危険物・可燃物などがなく、火災の危険がない場所に設置する。
- 水平で丈夫な場所に設置し、不安定なときは補強工事を行う。
- 保守メンテナンススペースが確保されていることを確認する。
  設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたします。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア、硫黄、塩素、エチレン化合物、酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しない。
- ガス機器は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置する。
- 棚の下など落下物の危険がある場所や樹脂製の照明器具、ガス湯沸器の下には設置しない。
  火災のおそれや思いがけない事故の原因になります。
- この機器は家庭用のため、業務用として使用する場所に設置すると著しく機器の寿命が短くなります。
- コンロ下部キャビネット裏側は、外部から風などの影響を受けない構造にする。
  ・右図のようにガス配管貫通部など建物構造上内気と外気がつながり、図1のような異常な空気の流れが起こるのでキャビネットに背板をもうけるか、図2のようにベニヤ板など（仕切板）により機器の後方をふさいでください。
  コンロの炎がゆらいだり、消えたり異常燃焼や機器焼損のおそれがあります。

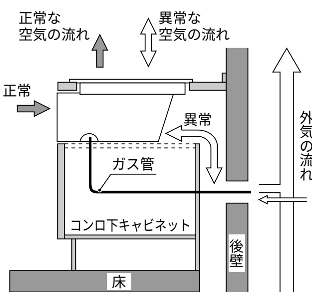


図1

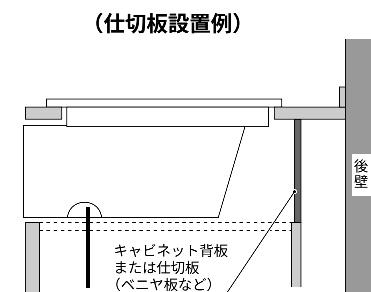


図2

- 上記のほか設置場所について、次のことを守ってください。
  ・冷暖房装置の吹き出し口近くや、強い風が吹き込む場所に設置しない。

機器の設置

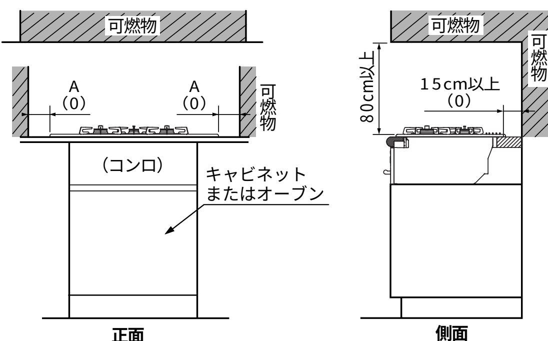
■防火上の離隔距離

◎機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。
◎この機器は防火性能評定品です。

> **⚠注意**
> ● 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する。
> 火災のおそれがあります。

※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、下表に基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



60cm幅タイプ

ガス機器防火性能評定品			
可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
80以上	15以上	15以上	15以上

上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合
グリスフィルター
金属以外の不燃材 (3mm以上)
15以上 15以上 60以上 60以上 15以上
財団法人 日本ガス機器検査協会

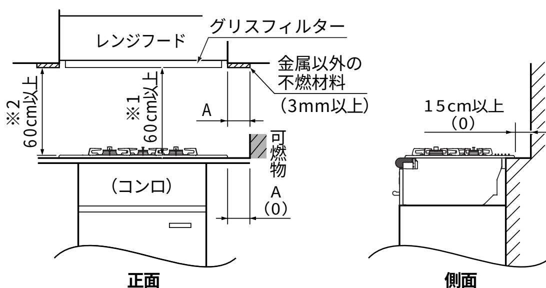
75cm幅タイプ

ガス機器防火性能評定品			
可燃物からの離隔距離(cm)			
上方	側方	前方	後方
80以上	7.5以上	15以上	15以上

上方がレンジフードファンおよび不燃材の場合
グリスフィルター
金属以外の不燃材 (3mm以上)
7.5以上 7.5以上 60以上 60以上 15以上
財団法人 日本ガス機器検査協会

防火性能評定シール
（トッププレートに貼付）

レンジフードおよび不燃材の場合



※（　）内は、周囲の壁が不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。

A寸法
60cm幅タイプ：15cm以上
75cm幅タイプ：7.5cm以上

※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

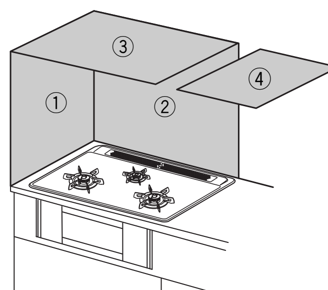
◎上記離隔距離がとれない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。

> **⚠注意**
> ● 防熱板（別売品）は、必ず指定のものを使用する。
> ● 防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
> 火災のおそれがあります。

● 防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cmタイプ幅は5種類用意しています。
● 用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は別売の防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)	備　考
①	DP0128	590	535	共用
②	LP0130	590	600	60cm幅タイプ用
	LP0131		750	75cm幅タイプ用
③	DP0129	550	900	共用
④	LP0117	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	DP0101	90	600	60cm幅タイプ用
	DP0104		750	75cm幅タイプ用

※DP0101、DP0104はワークトップ後部の立ち上がり用



⑤バックガード

（ワークトップの後部に立ち上がりがある場合）

※イラストはイメージ図です。

防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの弊社（別紙サービス網一覧表）に連絡してください。

■ワークトップおよびキャビネットについて

◎ワークトップ材は熱硬化性樹脂化粧板（JIS K6903）または同等以上の材料としてください。

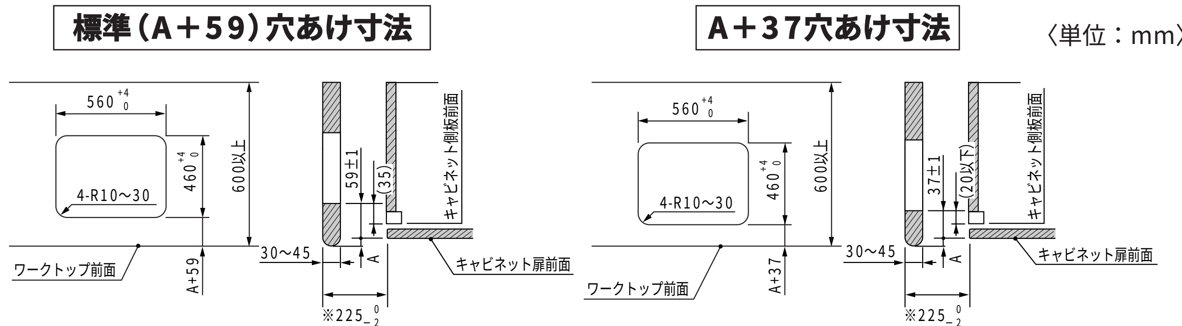
- ワークトップの表面がニス引きのものは変色しますので使用しないでください。

◎機器を組み込むために、下図の寸法穴に加工してください。

- 穴あけ寸法は、公差内になるように加工してください。公差外になると取り付けができなくなります。

⚠注意

- 45mmを超える厚いワークトップには設置しない。
  ワークトップの温度が上がり焼損のおそれがあります。



穴あけ寸法はA＋59が標準です。ただし、設置フリータイプですのでワークトップ
穴あけ寸法はA＋59、（A＋45）A＋37のどちらでも設置できます。

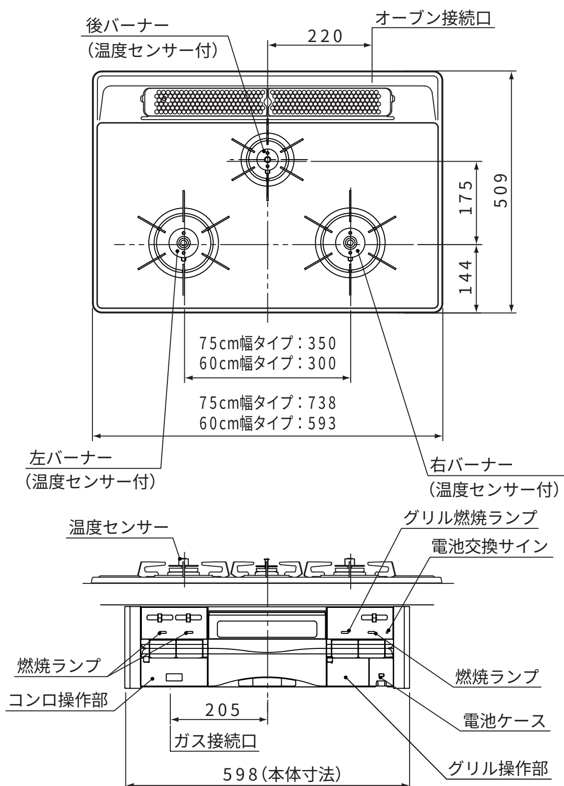
■機器の取り付け

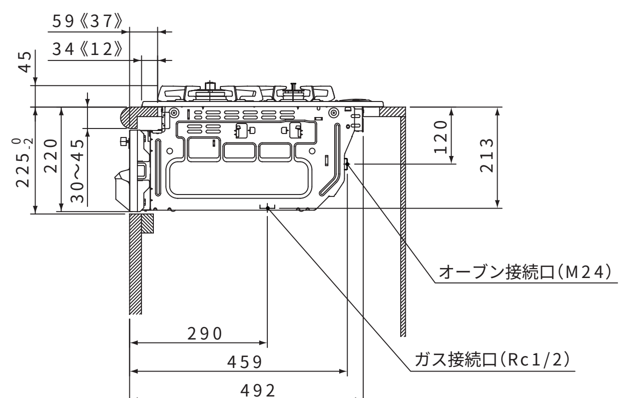
◎ビルトインコンロ単体で設置する場合

［標準設置図・機器寸法図］

※図はDW32G2WAタイプです。
※その他のタイプについても、トッププレート幅は異なりますが、設置寸法は同じです。
※《　》内の寸法はA＋37設置寸法です。

〈単位：mm〉





[機器本体の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. 機器側ガス接続口の接続フタの取りはずし ● 機器底部左側のガス接続口に取り付けてあるガス接続口フタ（ネジ3本）とOリングを取りはずしてください。 **取りはずした部品は不要です。**	ガス接続口位置は3ページ参照 Oリング 接続フタ （本体底部左側）
2. グリルとびらの取りはずし ● グリルとびらの取っ手を持ち、少し持ち上げながら引き出し、取りはずしてください。グリル受け皿は、グリルとびらに組付けしているので一緒に動きます。 ・グリル受け皿、グリル焼網などがはずれた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。	グリル焼網 グリルとびらガラス 機器からはずす場合は少し持ち上げて引き出す グリル受け皿 グリルとびら取っ手
3. 機器本体のはめ込み ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・上部左右の枠を持たないでください。（75cm幅タイプ） ・ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・はめ込み時はパネルなどをキズつけないようにしてください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 **⚠注意** ● 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す。 トッププレートのガラスが割れる危険があります。	設置用取っ手 シールパッキン （機器内のガス配管、バーナーなどは持たないでください。） 部は持たないでください。 **75cm幅タイプ**
4. サイドモールの取り付け ● サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。	サイドモール サイドモール 凸部（切り込み）
5. 機器本体の固定 ● 機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ・機器前面とキャビネット前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。 はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	本体固定ネジ シールパッキン ワークトップ

[部品の取り付け]

<table>
<tr><th>作　業　手　順</th><th>説　明　図</th></tr>
<tr><td>

1. グリルとびらの取り付け

● グリルとびらの取っ手を持ち、取りはずしたときと逆の要領で取り付けてください。

</td><td>―</td></tr>
<tr><td>

2. トッププレートの取り付け

①機器本体後部に止めてあるトッププレート固定用ネジ(2本)をはずしてください。
(このネジは③で使用します。)

②トッププレートの後部を浮かしながら機器本体にかぶせて、トッププレート裏面突起部に機器本体前部ツメをはめ込み、バーナーリングとバーナーを合わせながらトッププレートを取り付けてください。

③ ①ではずしたトッププレート固定用ネジでトッププレートを機器本体後部で固定してください。

ネジをゆるめたり、締めつける際には手動ドライバーを使用してください。
電動ドライバーではネジが利かなくなります。

お願い

トッププレートの取り付けは確実に行い、浮きがないことを確認してください。

</td><td>

トッププレート固定用ネジ
バーナーリング(大)
トッププレート裏面突起部(2ヶ所)
バーナーリング(小)
バーナーリング(大)
バーナー
バーナー
バーナー
機器本体前部ツメ
トッププレート裏面突起部
機器本体前部ツメ
トッププレート

※イラストはイメージです。

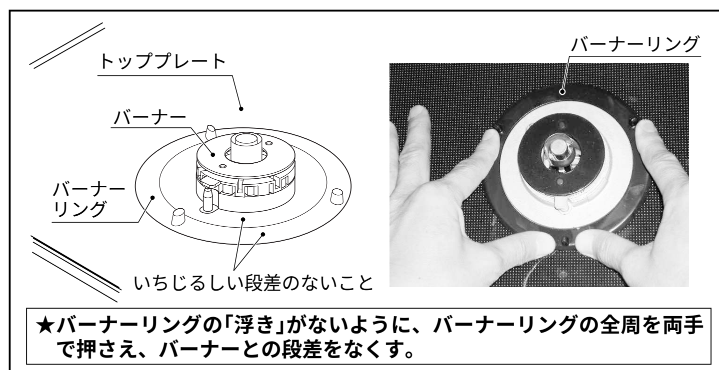
</td></tr>
</table>

トッププレート施工後必ず確認してください

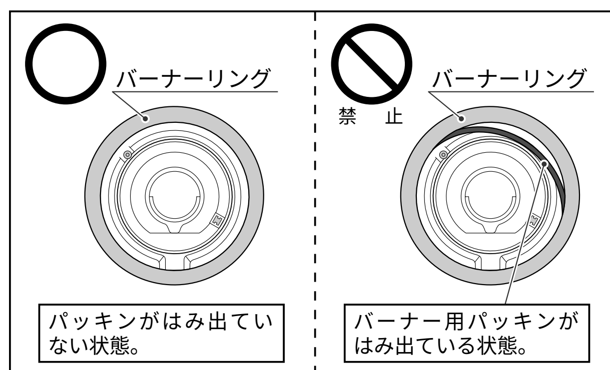
⚠注意

● **トッププレート取り付け後、バーナーリングの「浮き」がないことを必ず確認する。**
「浮き」があると煮こぼれが機器内部に浸入し、故障の原因になります。

● **トッププレート取り付け後、バーナー用パッキンがはみ出ていないことを必ず確認する。**
はみ出ていると、バーナーの炎によりバーナー用パッキンに異常をおこすおそれがあります。



★バーナーリングの「浮き」がないように、バーナーリングの全周を両手で押さえ、バーナーとの段差をなくす。



パッキンがはみ出ていない状態。

バーナー用パッキンがはみ出ている状態。

作　業　手　順	説　明　図

3. バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバーの取り付け

● バーナーキャップ取り付け後（下記参照）、ごとく・グリル排気口カバーの順に正しく取り付けてください。

詳細は取扱説明書を参照してください。

バーナーキャップの取り付けかた

● 図のようにバーナーキャップの爪部が点火プラグの真上にくるように合わせて、バーナーキャップを取り付けてください。

※傾いたり、浮いたりしていないかを確認してください。

⚠注意

● **バーナーキャップを正しく取り付ける。**
バーナーキャップを正しく取り付けないと、点火しなかったり炎が不均一になり、異常燃焼や部品が焼損するおそれがあります。

爪部
バーナーキャップ
点火プラグに合わす
点火プラグ
禁　止

グリル排気口カバー
ごとく（大）
ごとく（小）
ごとく（大）
後バーナー用
バーナーキャップ（小）
左バーナー用
バーナーキャップ（大）
右バーナー用
バーナーキャップ（大）
トッププレート

4. 乾電池の取り付け

アルカリ乾電池（単1形：1.5V）を2個使用します。

● 乾電池の寿命は、およそ1年がめやすです。
（付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自然放電のため、寿命が短くなっている場合があります。）

乾電池の取付手順

①電池ケースの下部を持って引っぱると引き出せます。

● 電池ケースを引き出すときはゆっくり引き出してください。強く引き出しますと破損の原因になります。
● 電池ケースは、途中で止まる仕様になっています。

②アルカリ乾電池2個を、⊖側を奥方向にして入れてください。

お願い

● 乾電池の⊕・⊖方向は間違えないでください。
点火できなくなります。

● 乾電池が入っている場合は、乾電池側面を持って（➡◎⬅（電池））引き上げると取り出しができます。

③電池ケースを押しながら奥まで押し込む。

引き出す
電池ケース下部
⊕
⊖⊕
⊖
持って
引き上げる
押し込む

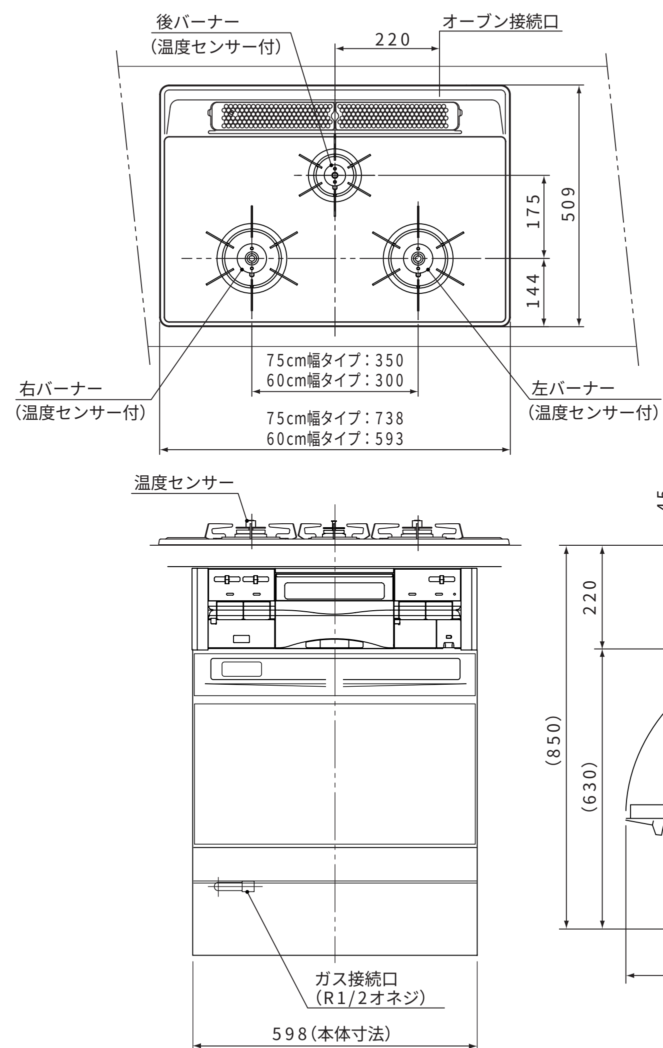
◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合

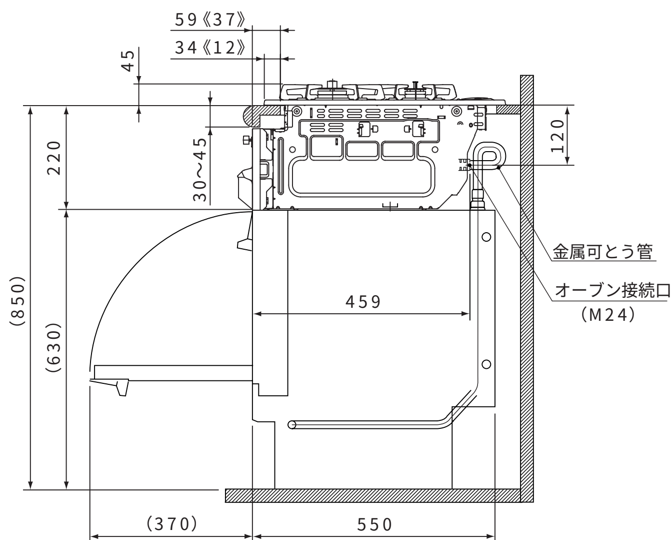
- オーブンのタイプは、ワークトップ穴あけ寸法に関係なく、A＋37仕様（Vタイプ）になります。
  オーブンの仕様を確認のうえ設置してください。
  詳しくはオーブン側の「工事説明書」を参照してください。

［標準設置図・機器寸法図］

※図はDW32G2WAタイプです。
※その他のタイプについても、トッププレートの幅は異なりますが、設置寸法は同じです。
※《　》寸法はA＋37設置時（コンロ部の設置位置）の寸法です。
※オーブン設置寸法は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。

＜単位：mm＞





[取り付け前の準備]

作　業　手　順	説　明　図
1. ビルトイン形ガスオーブンが設置されていることを確認する	
2. 煮こぼれカバー後の取りはずし ● 左右の煮こぼれカバー後（ネジ各1本）を取りはずしてください。 **取りはずした煮こぼれカバー後・ネジはガス接続工事後、再度使用します。**	煮こぼれカバー後取付ネジ 煮こぼれカバー後 バーナー台
3. グリル排気筒の取りはずし ● グリル排気筒（ネジ2本）を取りはずしてください。 **取りはずしたグリル排気筒・ネジはガス接続工事後、再度使用します。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	グリル排気筒 グリル排気筒取付ネジ
4. 仕切板の取りはずし ● 仕切板（ネジ3本）を取りはずしてください。 **取りはずした仕切板・ネジはガス接続工事後、再度使用します。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	仕切板取付ネジ 仕切板 仕切板取付ネジ
5. 閉塞栓の取りはずし ● 閉塞栓押え板（ネジ1本）を取りはずしてください。 ● 閉塞栓を後方へ引き抜いてください。 **取りはずした閉塞栓、閉塞栓押え板、取付ネジは不要です。** ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	取付ネジ 閉塞栓押え板 閉塞栓 接続継手
6. ビルトイン形ガスオーブンの作業	● この作業はビルトイン形ガスオーブン側に付属されている「工事説明書」を参照して行ってください。

[ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンの組み合わせ作業]

作　　業　　手　　順	説　　明　　図
1. グリルとびらの取りはずし ● グリルとびらの取っ手を持ち、少し持ち上げながら引き出し、取りはずしてください。グリル受け皿は、グリルとびらに組付けしているので一緒に動きます。 ・グリル受け皿、グリル焼網などがはずれた場合は取扱説明書を参照して取り付けてください。	
2. コンロ機器本体のはめ込み ● 機器中央部の設置用取っ手を持ち、機器本体をキャビネットにはめ込んでください。 ・上部左右の枠を持たないでください。（75cm幅タイプ） ・ガス配管やバーナーなどを持たないでください。ガス漏れや異常燃焼の原因になります。 ・はめ込み時はパネルなどをキズつけないようにしてください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンを取りはずさないでください。 **コンロをはめ込む前に、オーブン側のコンロ接続用フレキ管を右図のような形状・寸法に曲げてください。** **⚠注意** ● 機器を設置したあと、設置用取っ手を手前に倒す。 トッププレートのガラスが割れる危険があります。	
3. サイドモールの取り付け ● サイドモールをパネル両サイドの凸部（切り込み）にまっすぐに差し込み、奥にあたるまで差し込んでください。	
4. コンロ機器本体の固定 ● 機器本体の位置決めは、機器本体側面の本体固定ネジ（4本）でワークトップに固定してください。 ・機器前面とオーブン前面とのおさまり具合を確認しながら位置決めを行ってください。 ・機器周囲に取り付けてあるシールパッキンがはずれたりしていないか確認してください。 はずれたり、かみ込んだりしている場合は図のようにワークトップに密着するように確実に取り付けてください。	
5. オーブンとコンロのガス接続 ● オーブン側に組み付けてあるコンロ接続用フレキ管をコンロ側の接続口と接続してください。	接続の方法は、14ページ（ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法）を参照してください。

作　業　手　順	説　明　図
6. オーブン排気筒（オーブン側の付属部品）の取り付け ● オーブン排気筒上部のツバ部（穴）をコンロ側突起部に差し込みながら、オーブン後側の排気出口に確実に差し込んでください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。 ● オーブンの種類によって、オーブン排気筒の形状が異なります。 オーブン排気筒によって、仕切板（下記「7. 仕切板 必要部 の取り付け」参照）の切断位置が変わりますので、注意してください。 ①ふくらみなし　②両側ふくらみ　③片側ふくらみ ①：仕切板 **切断ラインA**で切断 ②③：仕切板 **切断ラインB**で切断	ツバ部（穴） オーブン排気筒 ツバ部（穴） オーブン後側排気出口部 コンロ側突起部 拡大図 オーブン排気筒
7. 仕切板 必要部 の取り付け ①仕切板の切断ラインに沿ってニッパーで切り取ってください。 （排気筒の形状によって切断位置が変わりますので、注意してください。） ②仕切板 必要部 の上部角穴を機器本体のツメに差し込んで取り付けてください。 **切り取った仕切板は不要です。**	切断ラインA 切断ラインB 仕切板 必要部 仕切板 必要部 機器本体ツメ 仕切板取付ネジ 角穴 仕切板 必要部
8. グリル排気筒の取り付け ● 元通りにグリル排気筒（ネジ2本）を取り付けてください。 ※イラストはわかりやすくするために、透視図にしています。	グリル排気筒 グリル排気筒取付ネジ
9. 煮こぼれカバー後の取り付け ● 元通り左右の煮こぼれカバー後（ネジ各1本）を取り付けてください。	煮こぼれカバー後取付ネジ 煮こぼれカバー後 バーナー台

[部品の取り付け]

作　業　手　順	説　明　図
1. グリルとびら・トッププレート・バーナーキャップ・ごとく・グリル排気口カバー・乾電池の取り付け	取り付け方法は、8～9ページ（[部品の取り付け]）の項を参照してください。

ガス接続・配管工事

▣ガス接続工事

◎ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンとの接続方法（コンロ接続用フレキ管）

⚠注意

- 接続用フレキ管にOリングがついていることを必ず確認する。
  ※万一、なくなった場合やキズついた場合は、オーブン側に予備用としてOリングが入っていますので使用してください。
- Oリングは複数個入れない。
- 接続用フレキ管は斜めに挿入しない。
  ※斜めに挿入するとOリングがキズついたり、かみ込んだりしますので、必ず平行に挿入してください。
- 固定金具のスリット穴の中に接続継手と接続用フレキ管ナットのツバ部が入っていることを必ず確認する。
- 接続用フレキ管は、ねじったり、繰り返し曲げたり、衝撃を与えたりしない。
  ガス漏れの原因になります。

作業手順	説明図
■接続部の構造	コンロ背面 / 接続継手ツバ部 / 接続継手 / M24 / ナットツバ部 / ナット / 接続用フレキ管 / コンロ側 / オーブン側 / Oリング / 挿入部
1．オーブン側に組み付けてある接続用フレキ管のナット部を⇨方向へ移動させてください。	ナット
2．挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入してください。	
3．手じめで接続用フレキ管のナットを回し、ナットのツバ部と接続継手のツバ部が合うまでしめ込んでください。	しめ込み方向
4．ナットと接続継手の両方のツバ部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込んでください。	スリット穴 / 固定金具（オーブン側に同こん） / 接続継手ツバ部 / ナットツバ部

▣ガス配管工事

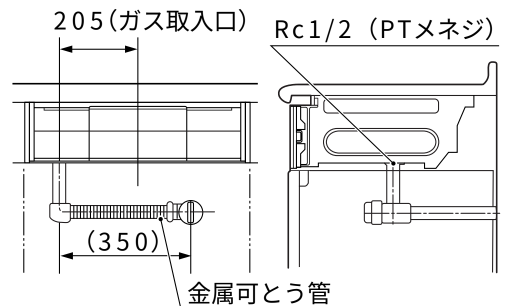
◎機器を設置する場所にガス栓がない場合や、あっても適切でない（位置・口径）場合は、新設または交換をしてください。

◎ガス接続方法

［ビルトインコンロ単体で設置する場合］

- ガス接続は金属管または金属可とう管を使用してください。
- ガス接続はRc1/2（PTメネジ）です。

標準配管接続例



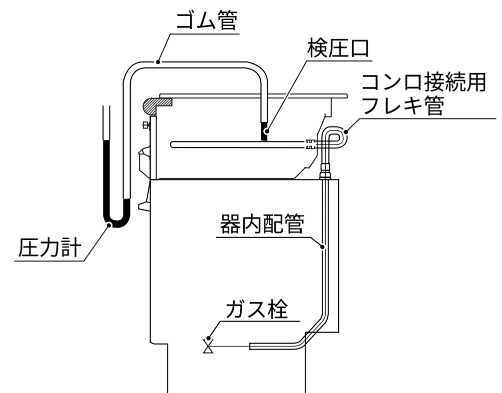
［ビルトインコンロとビルトイン形ガスオーブンをセットで設置する場合］

- ガス接続口、配管工事は、オーブン側の「工事説明書」を参照してください。
  すでにオーブンが設置されている場合は、14ページのガス接続工事に従ってガス接続してください。

◎工事後のガス漏れ確認

［機器のガス接続が完了している場合］

- 検圧口（コンロとオーブンをセットで設置した場合は、オーブンまたはコンロの検圧口）に圧力計を接続し、ガス栓を開いて一旦ガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下がらないことを確認してください。



［機器のガス接続ができていない場合］

- 検圧口に接続したゴム管から空気を吹き込み、圧力が逃げないようにゴム管を圧力計につなぎ替えて、圧力計の指示が下がらないことを確認してください。

［ガス漏れ確認終了後］

- 検圧口ネジは確実に取り付けてください。
- ビルトインコンロ側で検圧した場合は、必ず付属のアルミパッキンと取り替えてください。

◎試運転

- 取扱説明書の「点火・消火のしかた」に基づいて試運転を行ってください。
- 試運転終了後また、長期間使用しないときはガス栓を閉じ電池を抜いておいてください。